

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公開番号】特開2016-129606(P2016-129606A)

【公開日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-043

【出願番号】特願2015-5087(P2015-5087)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選に用いる抽選テーブルと

を備え、

前記抽選テーブルには、数値データと、ループ変数データとが記憶され、

前記抽選手段は、

前記抽選テーブルからループ変数データを取得可能とし、

前記抽選テーブルに記憶された数値データを用いて所定演算を実行し、

前記所定演算の結果が所定結果とならなかった場合には、ループ変数データを更新し、
更新したループ変数データが「1」以上のときは、前記抽選テーブルに記憶された数値データを用いて前記所定演算を実行し、

前記所定演算の結果が前記所定結果となった場合には、ループ変数データに基づいて抽選結果を決定可能に構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

本発明(第4実施形態)は、

抽選を行う抽選手段(メイン制御基板60上のMPUによる図30の抽選処理)と、
前記抽選手段による抽選に用いる抽選テーブル(図29の前兆遊技回数抽選テーブル(
TBL_DATA21))と
を備え、

前記抽選テーブルには、数値データ(図29中の11個の置数(「64」、「32」、「16」など))と、ループ変数データ(図29中のループ変数の初期値「11」)とが

記憶され、

前記抽選手段は、

前記抽選テーブルからループ変数データを取得可能とし（図30のステップS503）

、
前記抽選テーブルに記憶された数値データを用いて所定演算を実行し（図30のステップS506）、

前記所定演算の結果が所定結果とならなかった（図30のステップS507で「No」の）場合には、ループ変数データを更新し（図30のステップS508）、更新したループ変数データが「1」以上（図30のステップS504で「No」）のときは、前記抽選テーブルに記憶された数値データを用いて前記所定演算を実行し（図30のステップS506）、

前記所定演算の結果が前記所定結果となった（図30のステップS507で「Yes」の）場合には、ループ変数データに基づいて抽選結果を決定可能（図30のステップS509）に構成されている

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、抽選結果（当選番号）を記憶したテーブルを備えることなく、抽選結果（当選番号）を決定することができるので、抽選結果（当選番号）を記憶したテーブルを備えなくて済む分、メモリ容量を削減することができる。